(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2020年9月10日(10.09.2020)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2020/179423 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 50/10 (2012.01) *G16H 40/20* (2018.01)

(21) 国際出願番号： PCT/JP2020/006084

(22) 国際出願日： 2020年2月17日(17.02.2020)

(25) 国際出願の言語： 日本語

(26) 国際公開の言語： 日本語

(30) 優先権データ：
特願 2019-039689 2019年3月5日(05.03.2019) JP

(71) 出願人: オムロンヘルスケア株式会社 (**OMRON HEALTHCARE CO., LTD.**) [JP/JP]; 〒6170002 京都府向日市寺戸町九ノ坪５３番地 Kyoto (JP).

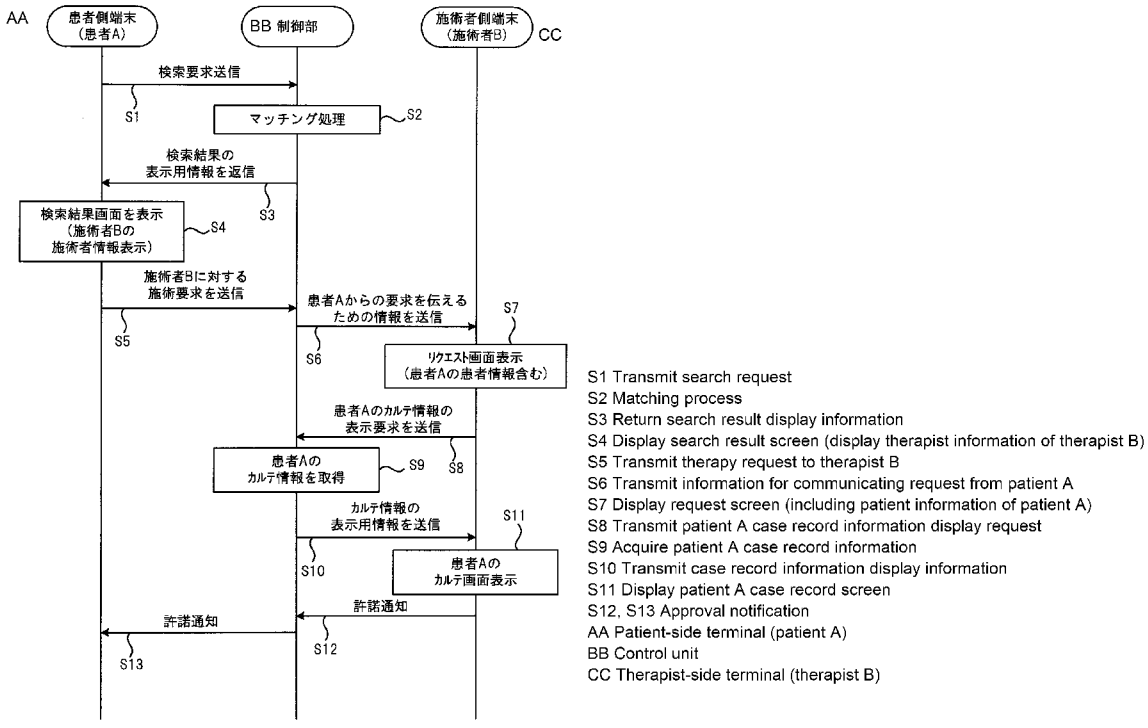
(72) 発明者: 佐藤 哲也 (**SATO Tetsuya**); 〒6170002 京都府向日市寺戸町九ノ坪５３番地 オムロンヘルスケア株式会社内 Kyoto (JP). 井上 皓介 (**INOUE Kosuke**); 〒6170002 京都府向日市寺戸町九ノ坪５３番地 オムロンヘルスケア株式会社内 Kyoto (JP). 雉子牟田 美香 (**KIJIMUTA Mika**); 〒6170002 京都府向日市寺戸町九ノ坪５３番地 オムロンヘルスケア株式会社内 Kyoto (JP).

(74) 代理人: 特許業務法人航栄特許事務所 (**KOH-EI PATENT FIRM, P.C.**); 〒1050003 東京都港区西新橋一丁目７番１３号 虎ノ門イーストビルディング９階 Tokyo (JP).

WO 2020/179423 A1

(54) **Title:** MATCHING ASSISTANCE DEVICE, MATCHING ASSISTANCE METHOD, AND MATCHING ASSISTANCE PROGRAM

(54) 発明の名称： マッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラム



S1 Transmit search request
S2 Matching process
S3 Return search result display information
S4 Display search result screen (display therapist information of therapist B)
S5 Transmit therapy request to therapist B
S6 Transmit information for communicating request from patient A
S7 Display request screen (including patient information of patient A)
S8 Transmit patient A case record information display request
S9 Acquire patient A case record information
S10 Transmit case record information display information
S11 Display patient A case record screen
S12, S13 Approval notification
AA Patient-side terminal (patient A)
BB Control unit
CC Therapist-side terminal (therapist B)

(57) **Abstract:** Provided are a matching assistance device, matching assistance method, and matching assistance program, which assist with making introductions between a patient and a therapist who can administer a therapy which is suited to the patient. Upon receiving from a patient-side terminal (10) used by a patient a search request for a therapist who meets the patient's desires, a control unit (31) of a server (30): searches a therapist information database 322 for therapist information which matches patient information of the patient (step S2); and returns to the patient-side terminal (10) infor-

［続葉有］

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一　国際調査報告（条約第21条(3)）

mation for causing the search result to be displayed (step S3). Upon receiving a display request of case record information associated with the patient information, from a therapist-side terminal (20) used by a therapist whose therapist information is registered with the therapist information database 322, the control unit (31) transmits to the therapist-side terminal (20) information for causing the case record information to be displayed (step S10).

(57) 要約：患者と、その患者にとって適した施術を行える施術者との引き合わせを支援するマッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラムを提供する。 サーバ（３０）の制御部（３１）は、患者の使用する患者側端末（１０）から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の患者情報にマッチングする施術者情報を施術者情報ＤＢ３２２から検索し（ステップＳ２）、その検索結果を表示させるための情報をその患者側端末（１０）に返信する（ステップＳ３）。制御部（３１）は、施術者情報ＤＢ３２２に施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末（２０）から、患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を受理した場合に、当該カルテ情報を表示させるための情報をその施術者側端末（２０）に送信する（ステップＳ１０）。

明　細　書

発明の名称 ：

マッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラム

技術分野

[0001] 本発明は、マッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラムに関する。

背景技術

[0002] ＰＣ（Ｐｅｒｓｏｎａｌ　Ｃｏｍｐｕｔｅｒ）やインターネットの普及に伴い、就職斡旋サービスや結婚相手紹介サービス等、所定の情報を求めるユーザや企業間の仲介を行うサービスが利用されている。これらのサービスを利用する場合、ユーザはサービス提供会社に年齢、学歴等の個人情報や興味のあるカテゴリを登録しておき、これらの要素を条件としてマッチング処理を行うことで、当該条件に適合するユーザや企業を検索することが行われている。

[0003] 例えば、特許文献１には、求職者と求人者とを仲介する求人求職支援システムが記載されており、求人者は自己の募集条件に適合する求職者を、当該求職者から登録される年齢、学歴、職歴等の個人情報に基づいて検索する技術が記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：日本国特開２００６－７２４６２号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] サービス提供者とサービス要求者とのマッチングを行う技術は従来から知られている。しかし、理学療法士、柔道整復師、はり師、きゅう師、作業療

法士、又は整体師等の人の身体の状態をケア及び改善させるための施術を行う施術者と、その施術を受ける患者とのマッチングを支援する技術は存在していない。

[0006] 例えば、患者は、身体に不具合があると、整形外科又は接骨院等に通院して施術を受けることになる。しかし、こういった通院のケースでは、患者が施術者を指名できないことも多く、患者にとって施術内容に不満が生じる要因となる。また、施術者側も、自身の専門領域を生かした施術ができる患者を担当できるとは限らないため、施術者にとって不満が生じる要因となる。また、患者は、店舗の営業時間でしか施術を受けられないため、待ち時間が生じたり、通院のための時間が作れなかったりすることがある。施術者も、店舗の営業時間でしか施術を行うことができないため、自身の技術を磨くことには限界が生じてしまう。

[0007] こういった課題を解決するために、予め登録された多数の施術者の中から、患者の希望する各種条件（施術時間帯、得意施術部位、経験年数、及び性別等）を満たす施術者を検索し、検索した施術者から患者が施術を受けられるようにすることで、患者と施術者との最適なマッチングを実現するシステムが有効と考えられる。しかし、身体の状態をケア又は改善させるための施術というサービス提供においては、上述した予め決められた各種条件が希望に合致しているからといって、患者に適した施術が行われるとは限らない。

[0008] 本発明の目的は、患者と、その患者にとって適した施術を行える施術者との引き合わせを支援するマッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラムを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0009] （１）

施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援装置であって、

複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、

前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理部と、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信部と、を備えるマッチング支援装置。

[0010] （１）によれば、例えば、マッチング処理の結果に基づいて患者から施術を希望された施術者は、この患者の患者情報に関連付けられた施術履歴情報の表示要求を施術者側端末から行うことで、その患者の過去の施術履歴情報を施術者側端末にて確認することができる。これにより、施術者は、過去の施術履歴から、その患者に適した施術を行うことができるかどうかの判断要素を増やすことができるため、より自分に適した患者に巡り合うことが可能になる。また、患者は、自身の施術履歴情報を公開することで、自身に適した施術を行うことができる施術者に選んでもらうことが期待でき、自身に適した施術者に巡り合うことが可能になる。

[0011] （２）

（１）記載のマッチング支援装置であって、

前記患者の前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を当該患者の使用する患者側端末から受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を当該患者側端末に送信する第二送信部と、

前記施術履歴情報に含まれる施術内容に対する助言の情報を付加する要求を前記施術者側端末から受理した場合に、当該施術履歴情報に、当該施術者側端末から受信した助言の情報と、当該施術者側端末を使用する施術者の情報とを付加して、前記施術履歴情報データベースに登録する情報付加部と、を備えるマッチング支援装置。

[0012] （２）によれば、患者に関連付けられた施術履歴情報に対し、その患者の施術を行ったことのない他の施術者が助言の情報を追加することができる。これにより、その患者は、自身の施術履歴情報に含まれる助言の情報を見て、その助言を行った施術者の利用を検討することができ、患者にとってはその施術者に施術を要求することで、症状の改善が期待できる。このように、施術者を選ぶときの判断要素を助言によって増やすことができ、より最適な患者と施術者のマッチングが期待できる。また、施術者にとっては、助言の追加によって、自身の知識や技術を有効活用できたり、自身の知識をアピールできたりすることになる。この結果、患者と施術者の双方にとって利点のあるマッチングを実現可能となる。

[0013] （３）

（２）記載のマッチング支援装置であって、

前記施術履歴情報に含まれる前記助言の情報を追加した施術者の情報は、前記施術者側端末においては、当該施術者の個人が特定されない形式にて表示され、前記患者側端末においては、当該施術者の個人が特定される形式にて表示されるマッチング支援装置。

[0014] （３）によれば、患者は、助言を行った施術者の氏名等が分かることで安心感が得られる。一方、施術者は、他の施術者に対して助言したことを知られるのを防ぐことができるため、施術者同士のトラブル防止に繋がる。

[0015] （４）

（２）又は（３）記載のマッチング支援装置であって、

前記情報付加部は、前記助言の情報が付加された前記施術履歴情報に対し、当該施術履歴情報に関連付けられている前記施術者情報にて特定される施

術者の使用する施術者側端末から、当該助言に対する見解の情報を付加する要求を受理した場合に、当該施術履歴情報に、当該施術者側端末から受信した当該見解の情報を付加して、前記施術履歴情報データベースに登録するマッチング支援装置。

[0016] （４）によれば、患者に関連付けられた施術履歴情報に対し、その患者の施術を行った施術者が、その患者の施術を行ったことのない他の施術者が行った助言に対する見解のコメントを追加することができる。これにより、その患者は、例えば見解コメントが肯定的なものであれば、その見解コメントを行った施術者に再度の施術を依頼することの判断を行うことができ、見解コメントが否定的なものであれば、その助言を行った施術者に施術を依頼することの判断を行うことができる。このように、施術者を選ぶときの判断要素を見解コメントによって増やすことができ、より最適な患者と施術者のマッチングが期待できる。

[0017] （５）

（１）から（４）のいずれか１つに記載のマッチング支援装置であって、

前記患者情報には、前記施術履歴情報の公開の可否を設定するための情報が含まれており、

前記第一送信部は、前記施術者側端末から、前記施術履歴情報の公開を許可する情報を含む前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合にのみ、

当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信するマッチング支援装置。

[0018] （５）によれば、患者によって施術履歴情報の施術者への公開の可否を設定することができるため、個人情報の保護に敏感な患者にも対応することが可能になる。

[0019] （６）

施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援方法であって、

複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、にアクセス可能なコンピュータが、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理ステップと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信ステップと、を実行するマッチング支援方法。

[0020] （７）

施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援プログラムであって、

複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、にアクセス可能なコンピュータに、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理ステップと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信ステップと、を実行させるためのマッチング支援プログラム。

発明の効果

[0021] 本発明によれば、患者と、その患者にとって適した施術を行える施術者との引き合わせを支援するマッチング支援装置、マッチング支援方法、及びマッチング支援プログラムを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0022] [図1]マッチング支援システム１００の概略構成例を示す図である。

[図2]図１に示す記憶部３２の患者情報ＤＢ３２１に記憶される患者情報の一例を示す模式図である。

[図3]図１に示す記憶部３２の施術者情報ＤＢ３２２に記憶される施術者情報の一例を示す模式図である。

[図4]図１に示す記憶部３２のカルテ情報ＤＢ３２３に記憶されるカルテ情報の一例を示す模式図である。

[図5]図１に示すマッチング支援システム１００のサーバ３０における制御部３１の機能ブロックを示す図である。

[図6]図１に示すマッチング支援システム１００の動作例を説明するためのシーケンスチャートである。

[図7]図６のステップＳ４にて表示される検索結果画面の一例を示す模式図である。

[図8]図６のステップＳ７にて表示されるリクエスト画面の一例を示す模式図である。

[図9]図６のステップＳ１１にて表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。

[図10]図１に示すマッチング支援システム１００において、施術者Ｂがカル

テ情報に対してコメントを追加する際の動作例を説明するためのシーケンスチャートである。

[図11]図１０のステップＳ３４にて施術者側端末２０の表示部に表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。

[図12]図１０のステップＳ３４にて施術者側端末２０の表示部に表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。

[図13]図１１のカルテ画面から助言の追記を行った後に施術者側端末２０の表示部に表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。

[図14]患者側端末１０にて表示されるカルテ画面の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0023] （実施形態のマッチング支援システムの概要）

本発明のマッチング支援装置を含むマッチング支援システムの実施形態の概要について説明する。実施形態のマッチング支援システムは、例えば、病院や整骨院等の施設に勤務する施術者が、休日や勤務時間後等の空いている時間帯に患者に対して施術を行いたい場合、施設に勤務していないフリーランスの施術者が患者に対して施術を行いたい場合、又は、施設に訪れる時間が取れない患者が自宅等にて施術を受けたい場合等に利用されることを想定している。

[0024] システムを利用したい施術者は、端末を操作してサービスサイトにログインし、施術のための資格の取得内容、施術可能日時、施術可能地域、施術の専門領域、経験年数、連絡先等の施術者情報をサーバに登録する。システムを利用したい患者は、自身の端末を操作してサービスサイトにログインし、施術希望日時、施術希望部位、施術者の条件、個人情報等の患者情報をサーバに登録する。

[0025] 患者が端末を操作して、自身の希望に合う施術者の検索要求をサーバに行うと、事前に登録された施術者情報と、その患者から登録された患者情報とに基づいて、サーバにて検索処理が行われ、その検索結果が患者の端末に表示される。患者は、端末に表示された検索結果から好みの施術者を選択し、

その施術者に対して施術依頼を行う。

[0026] 施術依頼が行われると、サーバが、選択された施術者の端末に施術依頼を送信し、その施術者がその施術依頼を許諾する操作を行うことで、患者と施術者との施術予約が成立する。この施術予約にしたがって、施術者による患者への施術が行われることになる。

[0027] 施術者は、患者の施術を行った後は、サービスサイトにログインして、その患者のカルテ情報の作成と登録を行う。このようにして登録された患者のカルテ情報は、患者が公開を許可することで、システムに登録している全ての施術者の端末から閲覧可能となる。

[0028] このシステムによれば、施術依頼を受けた施術者が、その施術依頼を許諾するか否かの判断を、その施術依頼を行った患者のカルテ情報を参照して決めることができる。

[0029] 例えば、患者ａは施術者ｂに施術を希望しているが、カルテ情報に基づく患者ａの過去の施術内容を参照すると、患者ａの症状は、施術者ｂの知識と経験では解決できそうにない症状と判断できる場合がある。このような場合には、施術者ｂが、患者ａの施術依頼を拒否する判断を行う。このようにすることで、患者ａは、自身に適さない施術が行われる可能性を減らすことができる。なお、施術依頼を拒否された患者ａは、別の施術者に施術依頼を行う又は希望条件を変更して再度検索を行う等の対応によって、自身の症状に適した施術者を見つけることが可能となる。

[0030] このように、実施形態のマッチング支援システムによれば、施術者にとっては、症状の改善が見込まれる施術を行うことのできる患者と巡り合うことができる。患者にとっては、自身の状態の改善を期待できる施術を行うことのできる施術者と巡り合うことができる。したがって、施術者と患者との双方に利点があるシステムを実現することができる。

[0031]（実施形態のマッチング支援システムの全体構成）

図１は、マッチング支援システム１００の概略構成例を示す図である。図１に示すように、マッチング支援システム１００は、サーバ３０と、インタ

ーネット等のネットワーク４０と、システムを利用する患者がネットワーク４０を介してサーバ３０にアクセスするために使用する患者側端末１０と、システムを利用する施術者がネットワーク４０を介してサーバ３０にアクセスするために使用する施術者側端末２０と、を備える。

[0032] 患者側端末１０と施術者側端末２０は、それぞれ、表示部を用いた情報の表示と、情報の入力を行うためのキーボード、マウス、又はタッチパネル等の操作インタフェースと、ネットワーク４０に接続するための通信インタフェースと、を含む電子機器であり、例えばスマートフォン、パーソナルコンピュータ、又はタブレット型端末等である。なお、図１では、患者側端末１０と施術者側端末２０はそれぞれ１台しか図示していないが、実際には、システムを利用する全ての患者と施術者の使用する端末が存在する。

[0033] サーバ３０は、制御部３１と、ハードディスク装置やＳＳＤ（Ｓｏｌｉｄ Ｓｔａｔｅ Ｄｒｉｖｅ）等の情報を記憶可能な装置からなる記憶部３２と、を備える。サーバ３０は、マッチング支援装置を構成している。

[0034] 制御部３１は、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ Ｕｎｉｔ）、ＲＡＭ（Ｒａｎｄｏｍ Ａｃｃｅｓｓ Ｍｅｍｏｒｙ）、及びＲＯＭ（Ｒｅａｄ Ｏｎｌｙ Ｍｅｍｏｒｙ）等を含み、プログラムにしたがってシステム全体の統括制御等を行う。制御部３１のＲＯＭには、マッチング支援プログラムを含むプログラムが記憶されている。

[0035] 記憶部３２には、各患者側端末１０から送信されてきた患者情報の集合である患者情報ＤＢ（データベース）３２１と、各施術者側端末２０から送信されてきた施術者情報の集合である施術者情報ＤＢ（データベース）３２２と、施術を行った施術者の施術者側端末２０から送信されてきたカルテ情報の集合であるカルテ情報ＤＢ（データベース）３２３と、が記憶されている。本形態におけるカルテ情報は、施術履歴情報を構成する。また、カルテ情報ＤＢ３２３は、施術履歴情報データベースを構成する。

[0036] （患者情報ＤＢに登録される患者情報）

図２は、図１に示す記憶部３２の患者情報ＤＢ３２１に記憶される患者情

報の一例を示す模式図である。図２に示した患者情報には、“患者識別情報”、“希望日時”、“希望施術部位”、“希望地域”、“希望施術者の条件”、“カルテ情報の公開可否”、及び“個人情報”が含まれる。

[0037] “患者識別情報”は、患者を識別するための情報であり、例えば、サーバ３０が提供するサービスサイトに、患者が患者側端末１０を利用してログインする際のログインＩＤが利用される。

[0038] “希望日時”は、患者が施術を希望する日時を示す情報である。

[0039] “希望施術部位”は、患者が施術を希望する体の部位（首、肩、腰、腕、下半身、上半身、全身等）を示す情報である。

[0040] “希望地域”は、患者が施術を希望する地域（例えば市区町村）を示す情報である。

[0041] “希望施術者の条件”は、施術者に求める条件を示す情報であり、例えば、施術者の性別、専門領域（腰、膝、肩等といった得意な施術部位）、及び経験年数等の情報を含む。

[0042] “カルテ情報の公開可否”は、カルテ情報の施術者への公開の可否を示す情報であり、

「公開拒否」又は「公開許可」のいずれかの情報である。

[0043] “個人情報”は、患者の氏名、住所、電話番号、メールアドレス、及び決済手段情報等の施術を受ける際に必要な基本的な個人情報である。

[0044] 図２に示した患者情報は、患者が、患者側端末１０を利用してサーバ３０にアクセスしてサービスサイトにログインし、操作インタフェースを操作して情報の入力を行うことで、制御部３１の制御によって、患者情報ＤＢ３２１に登録される。

[0045] （施術者情報ＤＢに登録される施術者情報）

図３は、図１に示す記憶部３２の施術者情報ＤＢ３２２に記憶される施術者情報の一例を示す模式図である。図３に示した施術者情報には、“施術者識別情報”、“施術可能日時”、“施術可能地域”、及び“個人情報”が含まれる。

[0046] “施術者識別情報”は、施術者を識別するための情報であり、例えば、サーバ３０が提供するサービスサイトに、施術者が施術者側端末２０を利用してログインする際のログインＩＤが利用される。

[0047] “施術可能日時”は、施術者が施術を行うことのできる日時を示す情報である。

[0048] “施術可能地域”は、施術者が施術を行うことのできる地域（例えば市区町村）を示す情報である。

[0049] “個人情報”は、施術者の性別、専門領域、経験年数、所持資格の内容、及び連絡先等の情報である。

[0050] 図３に示した施術者情報は、施術者が、施術者側端末２０を利用してサーバ３０にアクセスしてサービスサイトにログインし、操作インタフェースを操作して情報の入力を行うことで、制御部３１の制御によって、施術者情報ＤＢ３２２に登録される。

[0051] （カルテ情報ＤＢに登録されるカルテ情報）

図４は、図１に示す記憶部３２のカルテ情報ＤＢ３２３に記憶されるカルテ情報の一例を示す模式図である。図４に示したカルテ情報には、“患者識別情報”、“施術者識別情報”、“施術日時”、“施術部位”、“症状”、“施術方法”、“結果のコメント”、“他施術者からの助言”、“助言に対するコメント” 及び“助言した他施術者の施術者識別情報”が含まれる。

[0052] “患者識別情報”は、施術を受けた患者の患者情報に含まれる患者識別情報である。

[0053] “施術者識別情報”は、施術を行った施術者の施術者情報に含まれる施術者識別情報である。

[0054] “施術日時”は、施術が行われた日時を示す情報である。

[0055] “施術部位”は、施術が行われた体の部位を示す情報である。

[0056] “症状”は、患者の身体の痛み等の不調の状態を示す情報であり、施術者が問診等により判断した情報である。

[0057] “施術方法”は、行われた施術の内容（徒手、物理療法（低周波）等）を

示す情報である。

[0058] “結果のコメント”は、施術を行った結果、症状がどのように変化したかを示す情報である。

[0059] “他施術者からの助言”と“助言した他施術者の施術者識別情報”は、詳細は後述するが、このカルテ情報を作製した施術者（即ち、カルテ情報内の施術者識別情報にて特定される施術者）とは別の他施術者からの追加要求が行われた場合にのみ、カルテ情報に追加される情報である。

[0060] “他施術者からの助言”は、具体的には、このカルテ情報に含まれる“施術方法”に対する助言（換言すると提案）の内容を示す情報である。“助言した他施術者の施術者識別情報”は、この追加要求を行った上記の他施術者の施術者情報に含まれる施術者識別情報である。

[0061] “助言に対するコメント”は、詳細は後述するが、“他施術者からの助言”の情報がカルテ情報に追加されており、且つ、このカルテ情報を作製した施術者がこの助言に対する見解のコメントを追加する要求を行った場合にのみ、カルテ情報に追加される情報である。“助言に対するコメント”は、具体的には、“他施術者からの助言”の内容に対する肯定意見、反対意見等の施術者の見解を示す情報である。

[0062] 図４に示したカルテ情報は、患者に対して施術を行った施術者が、施術者側端末２０を利用してサーバ３０にアクセスしてサービスサイトにログインし、操作インタフェースを操作して情報の入力を行うことで、制御部３１の制御によって、カルテ情報ＤＢ３２３に登録される。

[0063] 図４に示すように、カルテ情報には、施術を受けた患者の患者識別情報と、施術を行った施術者の施術者識別情報とが含まれる。つまり、カルテ情報ＤＢ３２３に記憶されているカルテ情報は、このカルテ情報に含まれる患者識別情報を持つ患者情報ＤＢ３２１内の患者情報と、このカルテ情報に含まれる施術者識別情報を持つ施術者情報ＤＢ３２２内の施術者情報と、にそれぞれ関連付けられている。

[0064] なお、１人の患者に対して複数の施術者が施術を行った場合には、その各

施術者の施術者識別情報を含むカルテ情報が生成されてカルテ情報ＤＢ３２３に登録される。

[0065]（サーバの制御部の機能）

図５は、図１に示すマッチング支援システム１００のサーバ３０における制御部３１の機能ブロックを示す図である。制御部３１のプロセッサは、ＲＯＭに記憶された上記のマッチング支援プログラムを実行することにより、情報登録部３１１、マッチング処理部３１２、第一送信部３１３、第二送信部３１４、及び情報付加部３１５として機能する。

[0066] 情報登録部３１１は、患者が患者側端末１０を操作して入力した患者情報を、記憶部３２の患者情報ＤＢ３２１の記憶領域に記憶することで、この患者情報の登録を行う。また、情報登録部３１１は、施術者が施術者側端末２０を操作して入力した施術者情報を、記憶部３２の施術者情報ＤＢ３２２の記憶領域に記憶することで、この施術者情報の登録を行う。また、情報登録部３１１は、施術者が施術者側端末２０を操作して入力したカルテ情報を、記憶部３２のカルテ情報ＤＢ３２３の記憶領域に記憶することで、このカルテ情報の登録を行う。

[0067] マッチング処理部３１２は、患者情報ＤＢ３２１に登録されている任意の患者情報の患者識別情報にて特定される患者の使用する患者側端末１０（つまり、サービスサイトにログイン中の患者側端末１０）から、この患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、この任意の患者情報にマッチングする施術者情報を施術者情報ＤＢ３２２から検索し、その検索結果を表示させるための情報を、ネットワーク４０を介して、その検索要求を行った患者側端末１０に返信する。

[0068] 複数の施術者情報の中から患者情報にマッチングする施術者情報を検索する方法は、特に限定はされない。例えば、施術者情報における施術可能日時と、施術可能地域と、個人情報のうちの性別、専門領域、及び経験年数とが、患者情報のうちの希望日時、希望地域、及び希望施術者の条件の全てを満たすものを、患者情報に適合する施術者情報として抽出すればよい。

[0069] 第一送信部３１３は、施術者情報ＤＢ３２２に施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末２０（つまり、サービスサイトにログイン中の施術者側端末２０）から、患者情報ＤＢ３２１に登録されている患者情報のうち、“カルテ情報の公開可否”の情報として「公開許可」が登録されている任意の患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を受理した場合に、このカルテ情報を表示させるための情報を、その表示要求を行った施術者側端末２０に送信する。

[0070] つまり、第一送信部３１３は、システムに登録する施術者の施術者側端末２０から、カルテ情報の公開許可設定を行っている患者のカルテ情報の閲覧要求があった場合に、この閲覧要求がなされたカルテ情報を表示させるための情報を、その施術者側端末２０に送信する。第一送信部３１３の機能により、システムに登録している全ての施術者は、公開許可設定を行った全ての患者のカルテ情報をサービスサイトにて閲覧可能となっている。

[0071] 第二送信部３１４は、患者情報ＤＢ３２１に登録されている任意の患者情報の患者識別情報にて特定される患者の使用する患者側端末１０（つまり、サービスサイトにログイン中の患者側端末１０）から、この任意の患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を受理した場合に、そのカルテ情報を表示させるための情報を、ネットワーク４０を介して、その患者側端末１０に送信する。

[0072] つまり、第二送信部３１４は、システムに登録する患者の患者側端末１０から、自身のカルテ情報の閲覧要求があった場合に、この閲覧要求がなされたカルテ情報を表示させるための情報を、その患者側端末１０に送信する。第二送信部３１４の機能により、システムに登録している各患者は、カルテ情報に関しては、自身の患者情報に関連付けられたもののみを、サービスサイトにて閲覧可能となっている。

[0073] また、詳細な説明は省略するが、制御部３１の機能によって、システムに登録する患者は、患者側端末１０を利用してサービスサイトにログインすることで、施術者情報ＤＢ３２２に登録されている全ての施術者情報を閲覧可

能になっている。同様に、システムに登録する施術者は、施術者側端末２０を利用してサービスサイトにログインすることで、患者情報ＤＢ３２１に登録されている全ての患者情報を、個人情報を伏せた形にて、サービスサイトにて閲覧可能になっている。

[0074] 情報付加部３１５は、第一送信部３１３から施術者側端末２０に送信されたカルテ情報を表示させるための情報に基づくそのカルテ情報に対し、そのカルテ情報に含まれる“施術内容”に関する助言の情報を付加する要求を、この施術者側端末２０から受理した場合に、そのカルテ情報に、その助言の情報と、その施術者側端末２０を使用する施術者の施術者識別情報とを付加して、カルテ情報ＤＢ３２３に登録する。

[0075] つまり、任意の患者のカルテ情報（Ｃ１とする）を施術者側端末２０にて閲覧している施術者（このカルテ情報Ｃ１を作成した人とは別の施術者）が、カルテ情報Ｃ１に含まれる施術内容に対して助言のコメントを追加する操作をサービスサイト上にて行うと、この追加された助言のコメントの情報が施術者側端末２０からサーバ３０に送信される。そして、この助言のコメントの情報を受信した情報付加部３１５により、カルテ情報Ｃ１の“他施術者からの助言”の部分に、この助言のコメントの情報が登録されることになる。

[0076] カルテ情報Ｃ１に追加されたコメントは、前述したように、システムに登録している全ての施術者から閲覧可能である。また、システムに登録している患者のうち、カルテ情報Ｃ１が関連付けられている患者情報にて特定される患者のみ、このコメントを閲覧可能となる。

[0077] 情報付加部３１５は、更に、“他施術者からの助言”の情報が付加されたカルテ情報に対し、そのカルテ情報に関連付けられている施術者情報にて特定される施術者（換言すると、そのカルテ情報を作成した施術者）の使用する施術者側端末２０から、助言に対する見解のコメントの情報を付加する要求を受理した場合に、そのカルテ情報に、当該見解のコメントの情報を付加して、カルテ情報ＤＢ３２３に登録する処理も行う。

[0078] つまり、カルテ情報Ｃ１を作製した施術者が、カルテ情報Ｃ１を施術者側端末２０にて閲覧している場合に、カルテ情報Ｃ１に含まれる“他施術者からの助言”に対する見解のコメントを追加する操作をサービスサイト上にて行うと、この追加された見解のコメントの情報が、施術者側端末２０からサーバ３０に送信される。そして、この見解のコメントの情報を受信した情報付加部３１５により、カルテ情報Ｃ１の“助言に対するコメント”の部分に、この見解のコメントの情報が登録されることになる。

[0079] カルテ情報Ｃ１に追加された“助言に対するコメント”は、前述したように、システムに登録している全ての施術者から閲覧可能である。また、システムに登録している患者のうち、カルテ情報Ｃ１が関連付けられている患者情報にて特定される患者のみ、このコメントを閲覧可能となる。

[0080] （マッチング支援システムの動作例）

図６は、図１に示すマッチング支援システム１００の動作例を説明するためのシーケンスチャートである。図６では、患者Ａが、自身の希望に合う施術者の検索要求を行った結果、施術者Ｂがマッチング結果として表示され、その後に、患者Ａと施術者Ｂとが施術予約を完了させるまでの動作を一例として示している。なお、患者Ａの患者情報と、施術者Ｂの施術者情報は、それぞれ記憶部３２に登録済みのものとして説明する。

[0081] 患者Ａは、自身の患者側端末１０にてサーバ３０の提供するサービスサイトに、ＷＥＢブラウザ又は専用アプリ等によってアクセスしてログインする。そして、患者Ａは、患者側端末１０を操作して、自身の患者情報に適合する施術者情報の検索要求を行うと、この検索要求が、患者側端末１０から制御部３１へと送信される（ステップＳ１）。

[0082] 制御部３１のマッチング処理部３１２は、検索要求を受理すると、施術者情報ＤＢ３２２に登録されている施術者情報の中から、患者Ａの患者情報に含まれる希望条件に近い又はこれを満たす施術者情報を検索するマッチング処理を行う(ステップＳ２)。

[0083] その後、マッチング処理部３１２は、検索した施術者情報のリストを表示

させるための情報（検索結果の表示用情報）を生成して、この表示用情報を患者Ａの患者側端末１０に返信する（ステップＳ３）。ここでは、施術者情報として施術者Ｂの施術者情報のみが検索結果として出力された場合について説明する。

[0084] この表示用情報を受信した患者側端末１０は、ＷＥＢブラウザ又は専用アプリの機能によって、表示用情報に基づく検索結果画面を表示部に表示する（ステップＳ４）。

[0085] 図７は、図６のステップＳ４にて表示される検索結果画面の一例を示す模式図である。図７に示す検索結果画面１１には、検索にてヒットした施術者情報の件数を示すコメント（１件ヒットしました）と、検索された施術者Ｂの施術者情報の詳細が表示される施術者情報表示領域１２と、施術者Ｂに対して施術依頼を行うための施術依頼ボタン１３と、が表示されている。

[0086] 図７に示す検索結果画面を見た患者Ａが、患者側端末１０を操作して施術依頼ボタン１３を押下すると、施術者Ｂに対する施術要求が、患者側端末１０から制御部３１に送信される（ステップＳ５）。

[0087] この施術要求を受理した制御部３１は、患者Ａから施術要求があったことを伝えるための情報を、施術者Ｂの施術者側端末２０に送信する（ステップＳ６）。施術者Ｂの施術者側端末２０へのこの情報の送信は、施術者Ｂの施術者情報に含まれる連絡先の情報に基づいて、例えば電子メールを用いて行われる。

[0088] 施術者Ｂは、施術者側端末２０にて電子メールを確認すると、サービスサイトにログインする。施術者Ｂがサービスサイトにログインすると、制御部３１は、施術者Ｂの施術者側端末２０に対し、患者Ａからの施術依頼があったことを表示させるための情報を送信する。この情報を受信した施術者側端末２０は、ＷＥＢブラウザ又は専用アプリの機能によって、この情報に基づくリクエスト画面を表示部に表示する（ステップＳ７）。

[0089] 図８は、図６のステップＳ７にて表示されるリクエスト画面の一例を示す模式図である。図８に示すリクエスト画面２１には、施術依頼を行った患者

Ａの患者情報の詳細が表示される患者情報表示領域２２と、患者Ａの患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を行うためのカルテ表示ボタン２３と、患者Ａからの施術依頼を許諾するための許諾ボタン２４と、患者Ａからの施術依頼を拒否するための拒否ボタン２５と、が含まれている。

[0090] 図８に示すリクエスト画面２１を見た施術者Ｂが、施術者側端末２０を操作してカルテ表示ボタン２３を押下すると、患者Ａのカルテ情報の表示要求が施術者側端末２０から制御部３１に送信される（ステップＳ８）。

[0091] この表示要求を受理した制御部３１の第一送信部３１３は、患者Ａの患者情報に関連付けられたカルテ情報を記憶部３２から取得し（ステップＳ９）、取得したカルテ情報を表示させるための表示用情報を、施術者Ｂの施術者側端末２０に送信する(ステップＳ１０)。

[0092] この表示用情報を受信した施術者側端末２０は、ＷＥＢブラウザ又は専用アプリの機能によって、この表示用情報に基づくカルテ画面を表示部に表示する（ステップＳ１１）。

[0093] 図９は、図６のステップＳ１１にて表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。図９に示すカルテ画面２６には、患者Ａのカルテ情報の詳細が表示されるカルテ情報表示領域２７と、図８に例示したリクエスト画面２１に戻るための戻るボタン２８と、前述した許諾ボタン２４及び拒否ボタン２５と、が含まれている。

[0094] 施術者Ｂは、カルテ画面２６にて患者Ａのカルテ情報を確認した結果、自身の施術が有効と判断した場合には、許諾ボタン２４を押下する。一方、施術者Ｂは、カルテ画面２６にて患者Ａのカルテ情報を確認した結果、自身では症状の改善につなげることはできないと判断した場合には、拒否ボタン２５を押下する。

[0095] 許諾ボタン２４が押下された場合には、施術者Ｂの施術者側端末２０から制御部３１に許諾通知が送信される（ステップＳ１２）。この許諾通知を受けた制御部３１は、患者Ａの患者側端末１０に許諾通知を送信する（ステップＳ１３）。これにより、患者Ａと施術者Ｂとの間で施術予約が成立する。

[0096] なお、カルテ画面２６又はリクエスト画面２１にて、拒否ボタン２５が押下された場合には、施術者Ｂの施術者側端末２０から制御部３１に拒否通知が送信され、この拒否通知を受けた制御部３１は、患者Ａの患者側端末１０に拒否通知を送信する。これにより、患者Ａと施術者Ｂとの間の施術予約は不成立となる。

[0097] なお、施術者側端末２０から拒否通知を受けた制御部３１は、拒否理由の入力用画面を表示するための情報を施術者側端末２０に送信してもよい。この場合には、施術者側端末２０が表示部にこの入力用画面を表示し、拒否理由の入力を施術者Ｂに促す。拒否理由の入力がなされると、施術者側端末２０は、その拒否理由の情報を制御部３１に送信する。そして、制御部３１は、拒否通知と、拒否理由の情報と、を表示するための情報を患者Ａの患者側端末１０に送信する。このようにすることで、患者Ａは、施術依頼が拒否されたことと、その理由を知ることができる。

[0098] 拒否の理由として、例えば、“カルテから見ると、整体師ではなく理学療法士の方が改善の期待ができるため”、“カルテから見ると、膝に問題があると思われるが膝は専門領域ではないため”等のように、施術者Ｂの見解が記載されていた場合を考える。このような場合、患者Ａは、この拒否理由によって、自身に適した施術者を探すヒントを得ることができる。その結果、自身により適した施術者に巡り合うことが可能になる。

[0099] （施術者がカルテ情報にコメントを追加する場合の動作例）

図１０は、図１に示すマッチング支援システム１００において、施術者Ｂがカルテ情報に対してコメントを追加する際の動作例を説明するためのシーケンスチャートである。

[0100] 施術者Ｂが、施術者側端末２０を操作し、サービスサイト上で閲覧可能な任意の患者Ａの患者情報を選択して、その患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を行うと、その表示要求が施術者側端末２０から制御部３１に送信される（ステップＳ３１）。

[0101] この表示要求を受理した制御部３１の第一送信部３１３は、患者Ａの患者

情報に関連付けられたカルテ情報を記憶部３２から取得し（ステップＳ３２）、取得したカルテ情報とコメント入力欄を表示させるための表示用情報を、施術者Ｂの施術者側端末２０に送信する(ステップＳ３３)。

[0102] この表示用情報におけるコメント入力欄とは、施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者である場合、つまり、カルテ情報の表示要求を行った施術者Ｂの施術者識別情報が、そのカルテ情報に含まれている場合には、“助言に対する見解のコメント”を入力するためのものとされる。

[0103] 一方、この表示用情報におけるコメント入力欄とは、施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者ではない場合、つまり、カルテ情報の表示要求を行った施術者Ｂの施術者識別情報が、そのカルテ情報に含まれていない場合には、“助言のコメント”を入力するためのものとされる。

[0104] この表示用情報を受信した施術者側端末２０は、ＷＥＢブラウザ又は専用アプリの機能によって、この表示用情報に基づくカルテ画面を表示部に表示する（ステップＳ３４）。図１１及び図１２は、図１０のステップＳ３４にて施術者側端末２０の表示部に表示されるカルテ画面の一例を示す模式図である。

[0105] 図１１に示すカルテ画面２６Ａは、施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者ではない場合に、施術者Ｂの施術者側端末２０にて表示される画面の例を示している。カルテ画面２６Ａには、患者Ａのカルテ情報の詳細が表示されるカルテ情報表示領域２７Ａと、このカルテ情報に含まれる“施術内容”に対して助言のコメントを入力するための助言入力欄２８Ａと、が含まれている。

[0106] 図１２に示すカルテ画面２６Ｂは、施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者である場合に、施術者Ｂの施術者側端末２０にて表示される画面の例を示している。カルテ画面２６Ｂには、患者Ａのカルテ情報の詳細が表示されるカルテ情報表示領域２７Ｂと、このカルテ情報に含まれる“他施術者からの助言”に対して見解のコメントを入力するための見解入力欄２８Ｂと、が含まれている。

[0107] （施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者ではない場合の図１０のステップＳ３４以降の流れ）

施術者Ｂが、図１１に示すカルテ画面２６Ａにて患者Ａのカルテ情報を確認した結果、自身の施術が有効と判断した場合には、助言入力欄２８Ａに助言のコメントを入力して確定操作を行う。この確定操作により、入力された助言のコメントを患者Ａのカルテ情報に追加するコメント追加要求が、入力された助言のコメントの情報と共に、施術者側端末２０から制御部３１に送信される。（ステップＳ３５）。

[0108] このコメント追加要求を受理した制御部３１の情報付加部３１５は、施術者Ｂの施術者側端末２０から受信したコメントの情報と、その施術者Ｂの施術者識別情報との関連付けを行った上で、これら２つの情報を、患者Ａの患者情報に関連付けられているカルテ情報に付加することで、カルテ情報の更新を行う（ステップＳ３６）。

[0109] この場合、施術者側端末２０にて表示されるカルテ画面２６Ａは、図１１に示すものから図１３に示すものに変化する。図１３では、“他施術者からの助言”の項目に、施術者Ｂが入力したコメント(“ホットパックを加えてはいかがでしょうか”)が追加されている。また、このコメントの横には、このコメントを行った施術者Ｂの情報が、その施術者Ｂが特定されない形式、図１２の例では“施術者ｐ１”といったニックネームの形式にて、表示される。この“施術者ｐ１”の文字は、カルテ情報に含まれるこのコメントに関連付けられた施術者識別情報に基づいて表示される。例えば、この施術者識別情報の一部を削除した情報がニックネームとして表示される。

[0110] （施術者Ｂが患者Ａのカルテ情報の作成者ではある場合の図１０のステップＳ３４以降の流れ）

施術者Ｂは、図１２に示すカルテ画面２６Ｂにて患者Ａのカルテ情報を確認した結果、他施術者からの助言に対して同意する意見や反論する意見等の見解を述べたい場合には、見解入力欄２８Ｂに見解のコメントを入力して確定操作を行う。この確定操作により、入力された見解のコメントを患者Ａの

カルテ情報に追加するコメント追加要求が、入力された見解のコメントの情報と共に、施術者側端末２０から制御部３１に送信される（ステップＳ３５）。

[0111] このコメント追加要求を受理した制御部３１の情報付加部３１５は、施術者Ｂの施術者側端末２０から受信したコメントの情報と、その施術者Ｂの施術者識別情報との関連付けを行った上で、これら２つの情報を、患者Ａの患者情報に関連付けられているカルテ情報に付加することで、カルテ情報の更新を行う（ステップＳ３６）。

[0112] （患者Ａがカルテ情報の閲覧を行う場合の動作）

ここでは、カルテ情報に、上述してきた流れにて、助言の情報と見解の情報が追加されている場合を例にして説明する。

[0113] 患者Ａが患者側端末１０を操作して自身のカルテ情報の表示要求を行うと、制御部３１の第二送信部３１４から、患者Ａのカルテ情報を含むカルテ画面を表示させるための情報が該患者側端末１０に送信される。そして、患者側端末１０の表示部には、図１４に例示されるように、患者Ａのカルテ情報を含むカルテ画面１４が表示される。

[0114] 図１４に示すカルテ画面１４には、患者Ａのカルテ情報が表示されるカルテ情報表示領域１５が含まれる。カルテ情報表示領域１５において、“他施術者からのコメント”の項目には、患者Ａのカルテ情報における“他施術者からの助言”の情報に基づいて、患者Ａの施術を行った施術者以外の他施術者の助言のコメントが表示されている。そして、この助言のコメントの隣には、そのコメントを行った施術者の情報が、その施術者の個人が特定される形式にて表示されている。

[0115] 例えば、助言のコメントを行った施術者の情報が、その施術者の施術者情報に含まれる個人名にて表示される。この個人名は、カルテ情報に含まれる助言のコメントの情報に関連付けられた他施術者の施術者識別情報から、その他施術者の施術者情報にアクセスすることで得ることができる。

[0116] また、カルテ情報表示領域１５において、“カルテ作成者の見解”の項目

には、患者Ａのカルテ情報における“助言に対するコメント”の情報に基づいて、患者Ａの施術を行った施術者の見解のコメントが表示されている。

[0117] なお、図１４の例では、助言のコメントを行った他施術者の個人名に、更に、リンクＬＫが付与されている。患者Ａは、助言のコメントを見て、そのコメントを行った施術者の施術者情報を確認したい場合には、その個人名のリンクＬＫを押下する。リンクＬＫの押下が行われると、制御部３１が、その施術者情報を記憶部３２から読み出し、その施術者情報を表示させるための情報を患者側端末１０に送信する。これにより、患者Ａは、コメントが気になった施術者の施術者情報を表示部にて直ぐに確認可能となる。

[0118] （マッチング支援システム１００の効果）

以上のように、マッチング支援システム１００によれば、例えば、マッチング処理の結果に基づいて患者から施術を希望された施術者は、この患者の患者情報に関連付けられたカルテ情報の表示要求を施術者側端末２０から行うことで、その患者の過去のカルテ情報を施術者側端末２０にて確認することができる。これにより、施術者は、過去の施術履歴から、その患者に適した施術を行うことができるかどうかの判断要素を増やすことができるため、より自分に適した患者に巡り合うことが可能になる。また、患者は、自身のカルテ情報を公開することで、自身に適した施術を行うことができる施術者に選んでもらうことが期待でき、自身に適した施術者に巡り合うことが可能になる。

[0119] また、マッチング支援システム１００によれば、患者に関連付けられたカルテ情報に対し、その患者の施術を行ったことのない他施術者が助言のコメントを追加することができる。これにより、その患者は、自身のカルテ情報に含まれる助言のコメントを見て、その助言を行った他施術者の利用を検討することができ、患者にとってはその他施術者に施術を要求することで、症状の改善が期待できる。このように、施術者を選ぶときの判断要素を助言によって増やすことができ、より最適な患者と施術者のマッチングが期待できる。また、施術者にとっては、助言の追加によって、自身の知識や技術を有

効活用できたり、自身の知識をアピールできたりすることになる。この結果、患者と施術者の双方にとって利点のあるマッチングを実現可能となる。

[0120] また、マッチング支援システム１００によれば、患者に関連付けられたカルテ情報であって他施術者が行った助言のコメントが追加されているカルテ情報に対し、その患者の施術を行った施術者が見解のコメントを追加することができる。これにより、その患者は、例えば見解のコメントが肯定的なものであれば、カルテ情報の作成を行った施術者に再度の施術を依頼することの判断を行うことができ、見解のコメントが否定的なものであれば、その助言を行った施術者に施術を依頼することの判断を行うことができる。このように、施術者を選ぶときの判断要素を、見解のコメントによって増やすことができ、より最適な患者と施術者のマッチングが期待できる。

[0121] また、カルテ情報に含まれる“助言した他施術者の施術者識別情報”は、施術者側端末２０においては、その施術者識別情報にて特定される施術者の個人が特定されない形式（ニックネームなど）にて表示され、患者側端末１０においては、その施術者の個人が特定される形式（個人名など）にて表示される。このため、患者は、助言を行った施術者の個人名が分かることで安心感を得ることができる。また、施術者の個人名が表示されることで、いたずら目的でのコメントの書き込みを防ぐことができる。一方、施術者は、他施術者に対して助言したことを知られるのを防ぐことができるため、施術者同士のトラブル防止に繋がる。

[0122] 以上の説明では、患者情報ＤＢ３２１、施術者情報ＤＢ３２２、及びカルテ情報ＤＢ３２３が、サーバ３０の記憶部３２に記憶されるものとしたが、これに限らない。記憶部３２は、サーバ３０の制御部３１がアクセス可能な場所にあればよく、例えばネットワーク４０に接続された別サーバに設けられていてもよい。

[0123] 以上、図面を参照しながら各種の実施の形態について説明したが、本発明はかかる例に限定されないことは言うまでもない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された範疇内において、各種の変更例又は修正例に想到し得

ることは明らかであり、それらについても当然に本発明の技術的範囲に属するものと了解される。また、発明の趣旨を逸脱しない範囲において、上記実施の形態における各構成要素を任意に組み合わせてもよい。

[0124] なお、本出願は、２０１９年３月５日出願の日本特許出願（特願２０１９－０３９６８９）に基づくものであり、その内容は本出願の中に参照として援用される。

符号の説明

[0125] １００　マッチング支援システム

１０　患者側端末

１１　検索結果画面

１２　施術者情報表示領域

１３　施術依頼ボタン

１４　カルテ画面

１５　カルテ情報表示領域

ＬＫ　リンク

２０　施術者側端末

２１　リクエスト画面

２２　患者情報表示領域

２３　カルテ表示ボタン

２４　許諾ボタン

２５　拒否ボタン

２６、２６Ａ、２６Ｂ　カルテ画面

２７、２７Ａ　カルテ情報表示領域

２８　戻るボタン

２８Ａ　助言入力欄

２８Ｂ　見解入力欄

３０　サーバ

３１　制御部

３１１　情報登録部

３１２　マッチング処理部

３１３　第一送信部

３１４　第二送信部

３１５　情報付加部

３２　記憶部

３２１　患者情報ＤＢ

３２２　施術者情報ＤＢ

３２３　カルテ情報ＤＢ

４０　ネットワーク

請求の範囲

[請求項1] 施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援装置であって、

複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、

前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理部と、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信部と、を備えるマッチング支援装置。

[請求項2] 請求項１記載のマッチング支援装置であって、

前記患者の前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を当該患者の使用する患者側端末から受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を当該患者側端末に送信する第二送信部と、

前記施術履歴情報に含まれる施術内容に対する助言の情報を付加する要求を前記施術者側端末から受理した場合に、当該施術履歴情報に、当該施術者側端末から受信した助言の情報と、当該施術者側端末を

使用する施術者の情報とを付加して、前記施術履歴情報データベースに登録する情報付加部と、を備えるマッチング支援装置。

[請求項3] 請求項２記載のマッチング支援装置であって、

前記施術履歴情報に含まれる前記助言の情報を追加した施術者の情報は、前記施術者側端末においては、当該施術者の個人が特定されない形式にて表示され、前記患者側端末においては、当該施術者の個人が特定される形式にて表示されるマッチング支援装置。

[請求項4] 請求項２又は３記載のマッチング支援装置であって、

前記情報付加部は、前記助言の情報が付加された前記施術履歴情報に対し、当該施術履歴情報に関連付けられている前記施術者情報にて特定される施術者の使用する施術者側端末から、当該助言に対する見解の情報を付加する要求を受理した場合に、当該施術履歴情報に、当該施術者側端末から受信した当該見解の情報を付加して、前記施術履歴情報データベースに登録するマッチング支援装置。

[請求項5] 請求項１から４のいずれか１項記載のマッチング支援装置であって、

前記患者情報には、前記施術履歴情報の公開の可否を設定するための情報が含まれており、

前記第一送信部は、前記施術者側端末から、前記施術履歴情報の公開を許可する情報を含む前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合にのみ、

当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信するマッチング支援装置。

[請求項6] 施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援方法であって、

複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている

施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、にアクセス可能なコンピュータが、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理ステップと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信ステップと、を実行するマッチング支援方法。

[請求項7] 施術を行う施術者と施術を希望する患者とのマッチングを支援するマッチング支援プログラムであって、

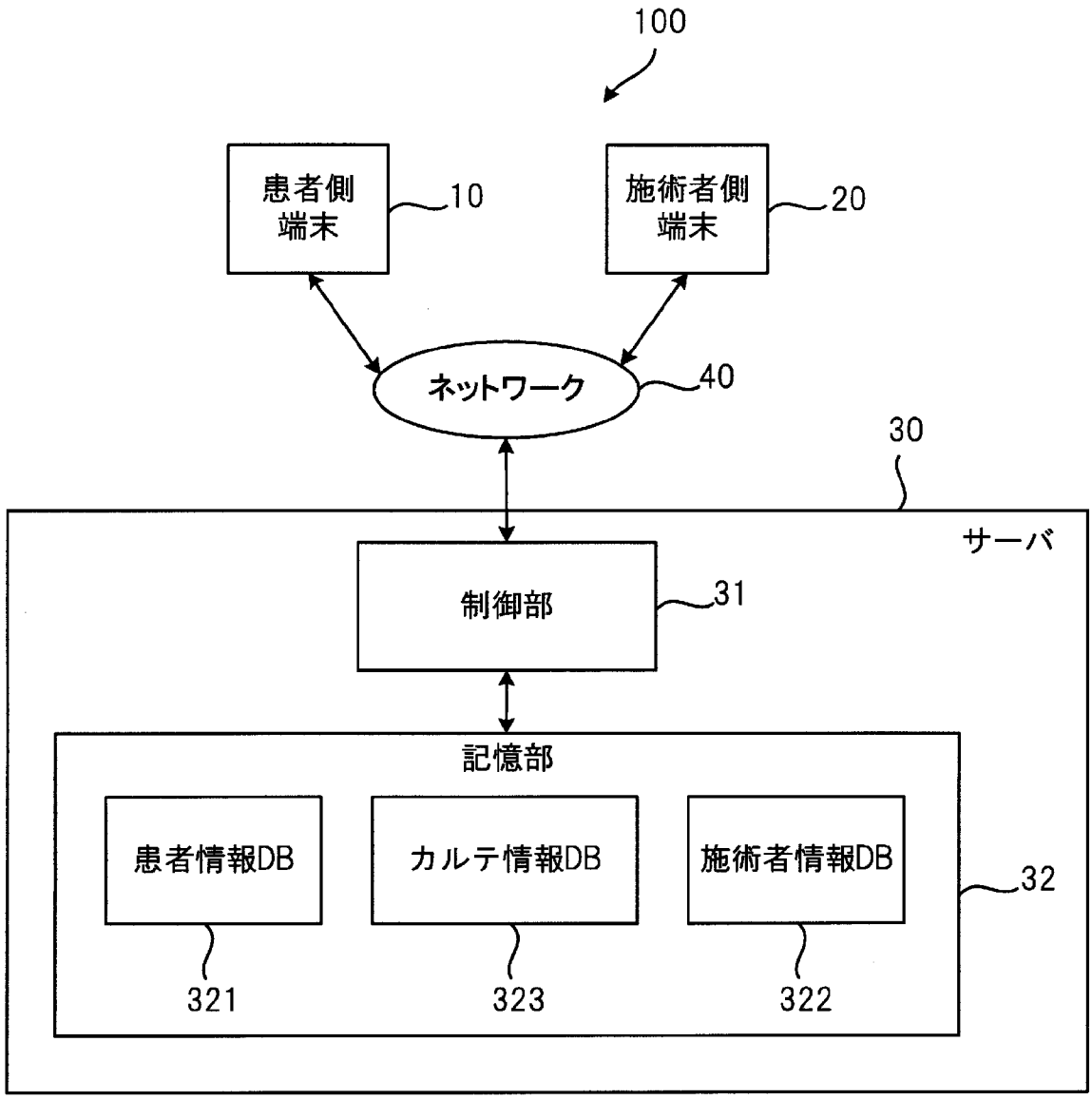
複数の前記施術者の各々の施術者情報が登録される施術者情報データベースと、前記患者の患者情報が登録される患者情報データベースと、前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者から施術を受けたことのある前記患者の前記患者情報及び当該施術者情報の各々に関連付けられた施術履歴情報が登録される施術履歴情報データベースと、にアクセス可能なコンピュータに、

前記患者の使用する患者側端末から当該患者の希望に合う施術者の検索要求を受理した場合に、当該患者の前記患者情報にマッチングする前記施術者情報を前記施術者情報データベースから検索し、その検索結果を表示させるための情報を前記患者側端末に返信するマッチング処理ステップと、

前記施術者情報データベースに前記施術者情報が登録されている施術者の使用する施術者側端末から、前記患者情報に関連付けられた前

記施術履歴情報の表示要求を受理した場合に、当該施術履歴情報を表示させるための情報を前記施術者側端末に送信する第一送信ステップと、を実行させるためのマッチング支援プログラム。

[図1]


100
患者側端末
10
施術者側端末
20
ネットワーク
40
30
サーバ
制御部
31
記憶部
患者情報DB
カルテ情報DB
施術者情報DB
32
321
323
322

[図2]

患者情報	患者識別情報
	希望日時
	希望施術部位
	希望地域
	希望施術者の条件 (性別、専門領域、経験年数等)
	カルテ情報の公開可否
	個人情報(連絡先等)

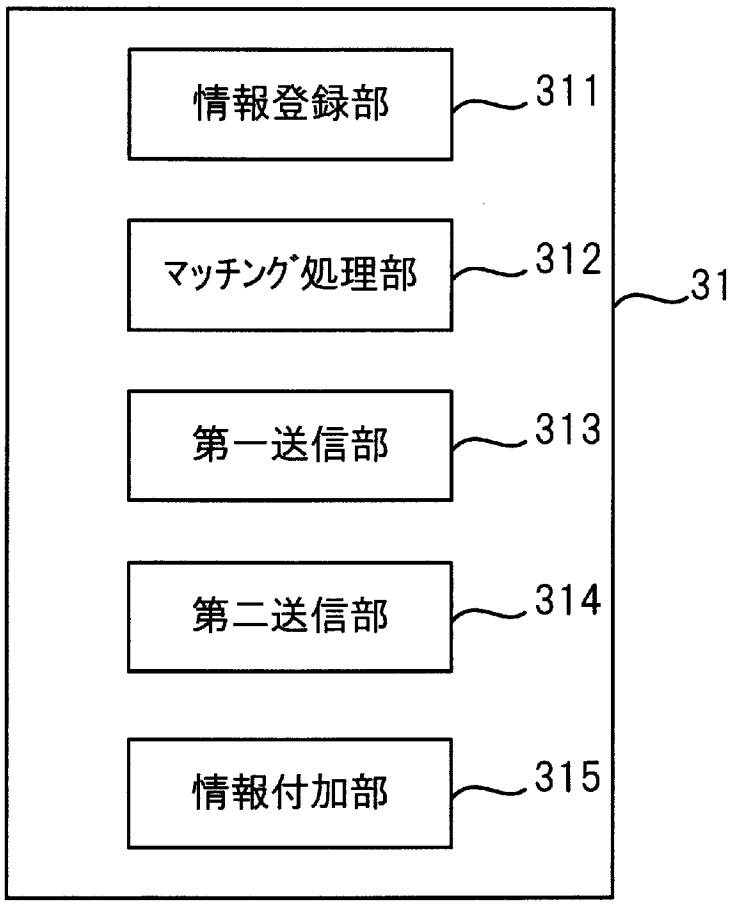
[図3]

施術者情報	施術者識別情報
	施術可能日時
	施術可能地域
	個人情報 (性別、専門領域、経験年数、連絡先等)

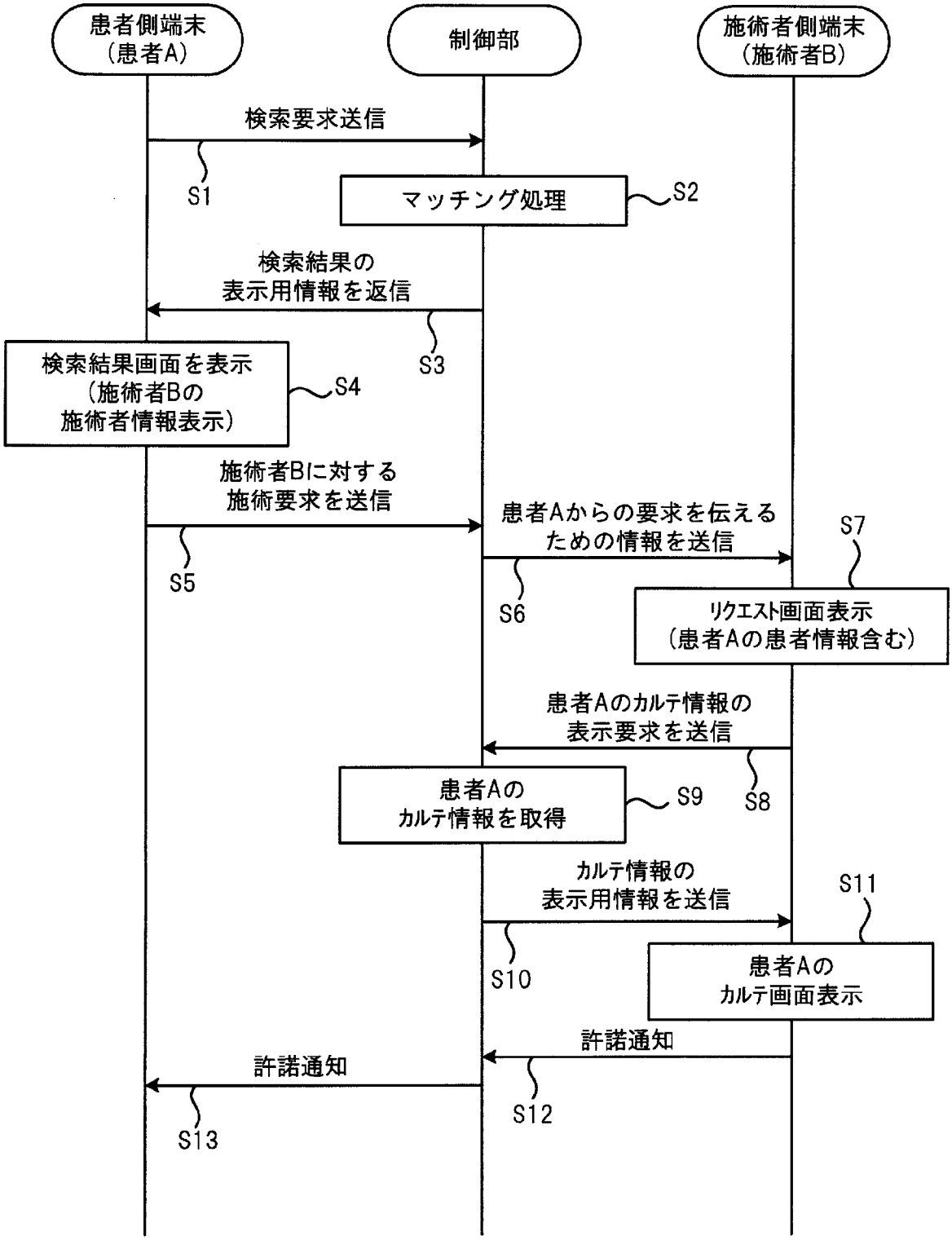
[図4]

カルテ情報	患者識別情報
	施術者識別情報
	施術日時
	施術部位
	症状
	施術方法
	結果のコメント
	他施術者からの助言
	助言に対するコメント
	助言した他施術者の施術者識別情報

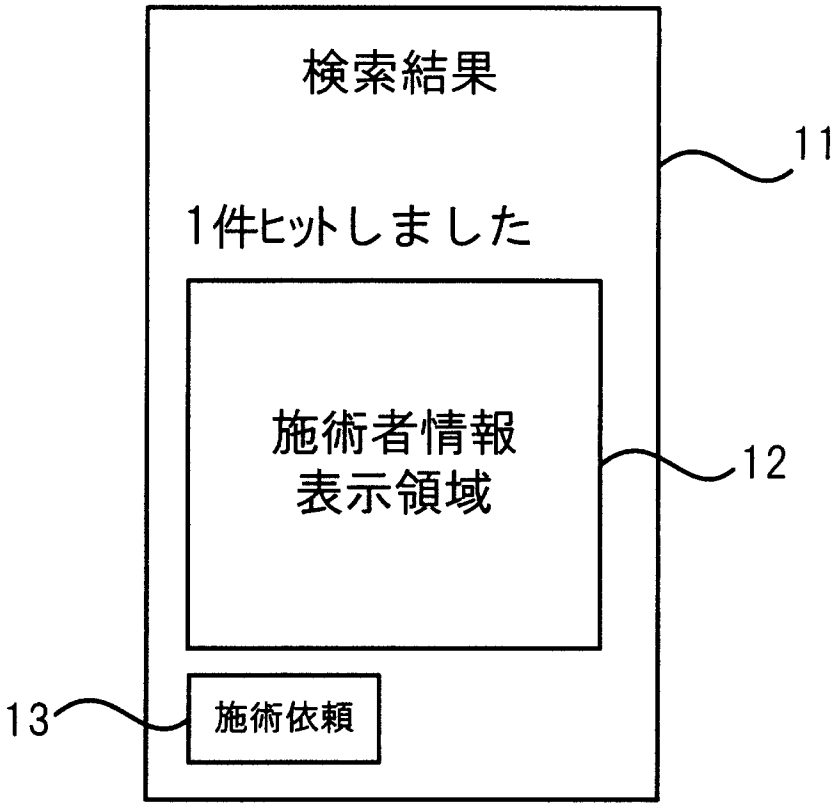
[図5]



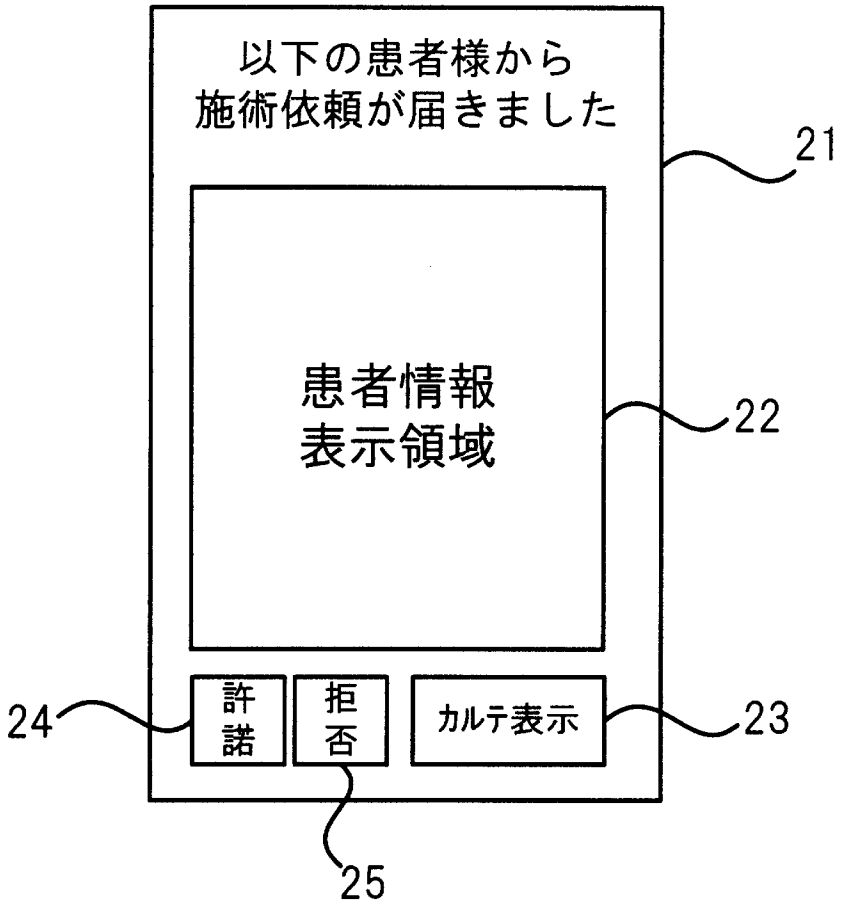
[図6]


患者側端末
(患者A)
制御部
施術者側端末
(施術者B)
検索要求送信
S1
マッチング処理
S2
検索結果の
表示用情報を返信
S3
検索結果画面を表示
(施術者Bの
施術者情報表示)
S4
施術者Bに対する
施術要求を送信
S5
患者Aからの要求を伝える
ための情報を送信
S6
S7
リクエスト画面表示
(患者Aの患者情報含む)
患者Aのカルテ情報の
表示要求を送信
S8
患者Aの
カルテ情報を取得
S9
カルテ情報の
表示用情報を送信
S10
S11
患者Aの
カルテ画面表示
許諾通知
S12
許諾通知
S13

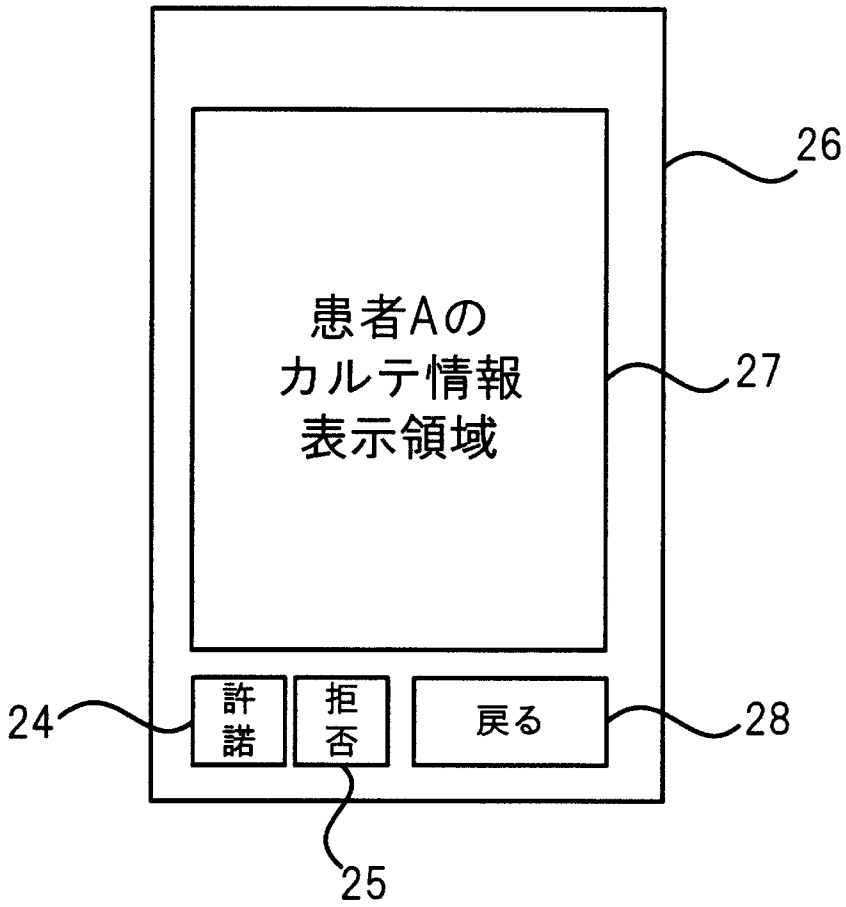
[図7]



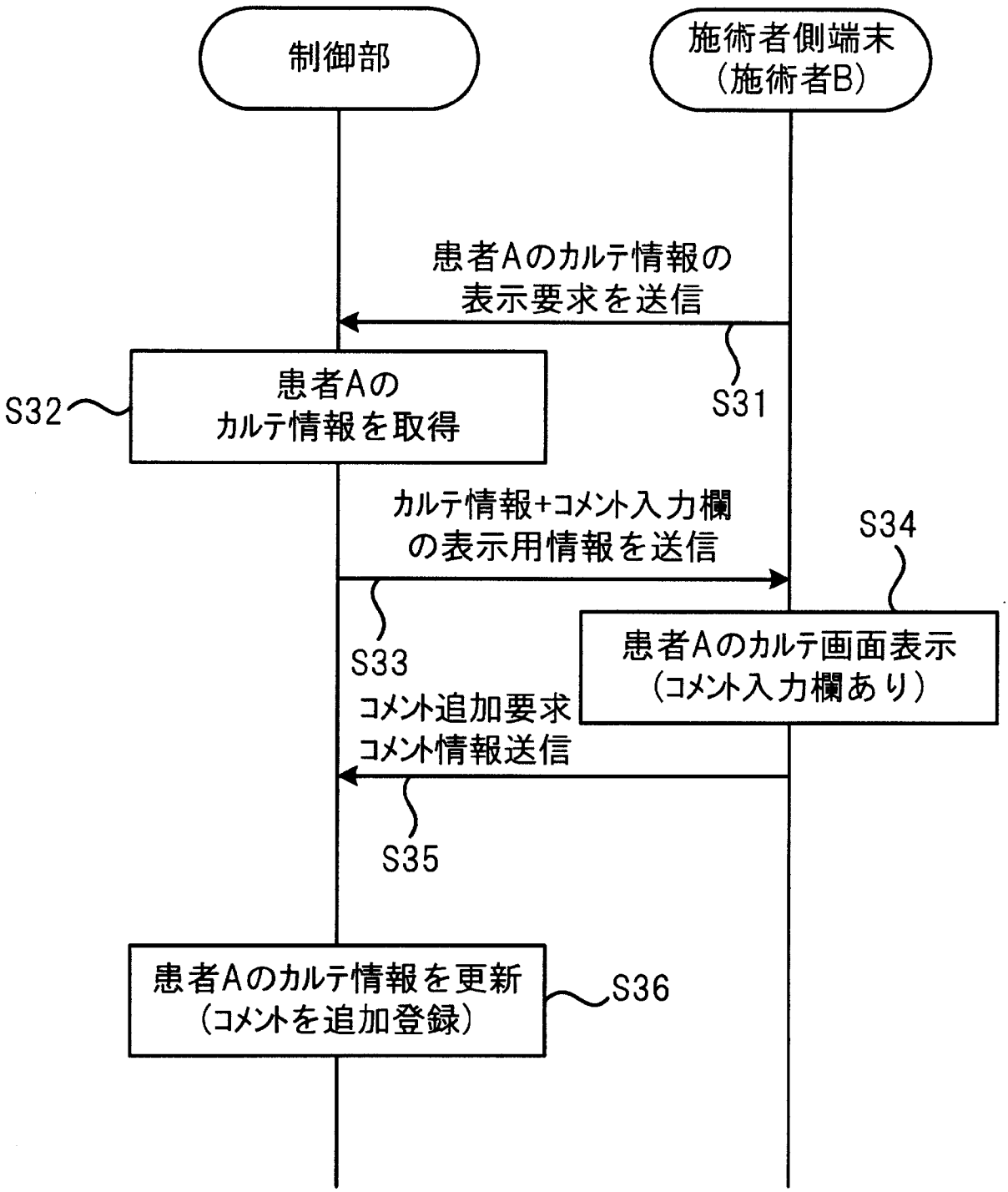
[図8]



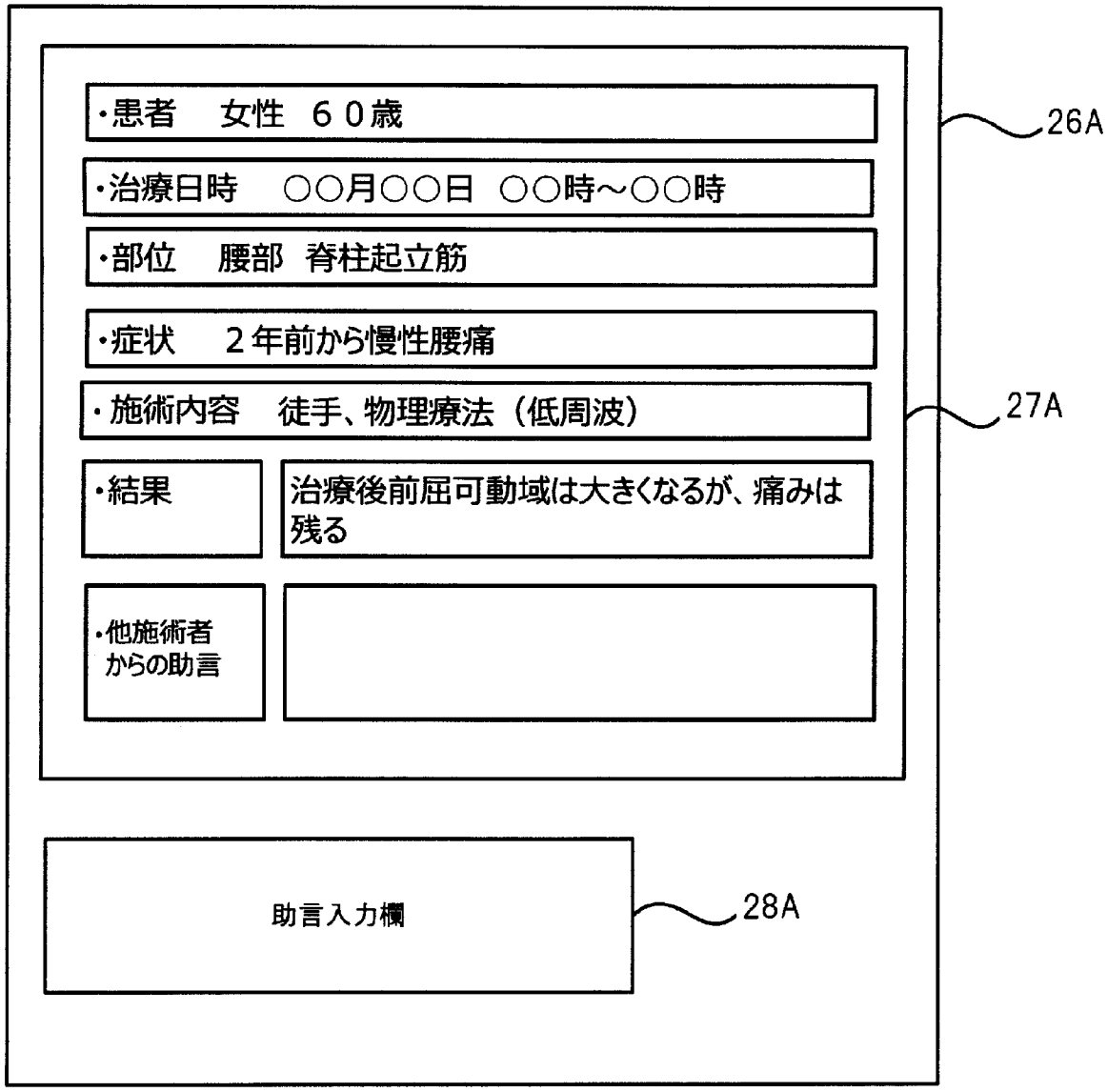
[図9]



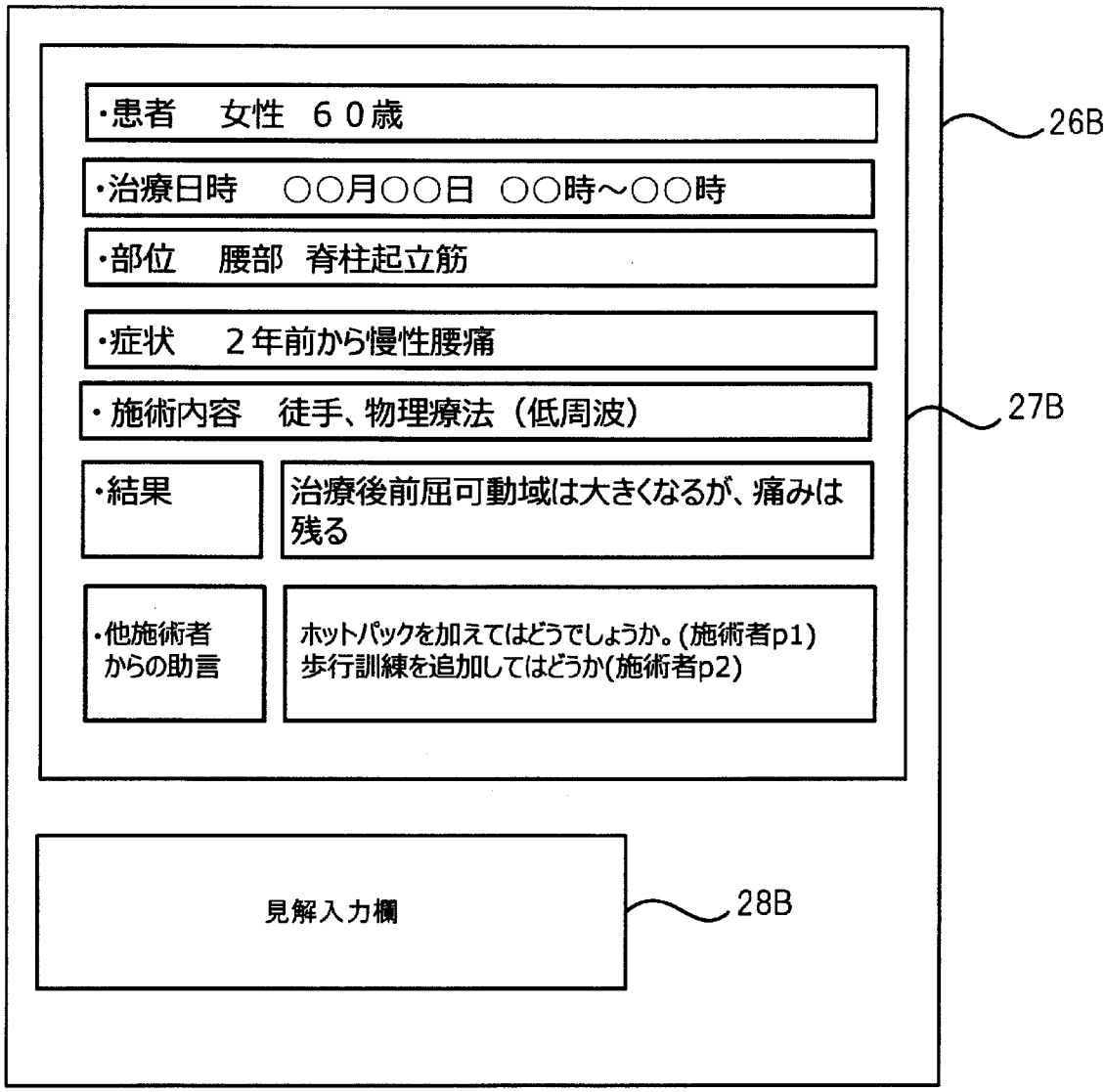
[図10]


制御部
施術者側端末
(施術者B)
患者Aのカルテ情報の
表示要求を送信
S31
S32
患者Aの
カルテ情報を取得
カルテ情報+コメント入力欄
の表示用情報を送信
S33
S34
患者Aのカルテ画面表示
(コメント入力欄あり)
コメント追加要求
コメント情報送信
S35
患者Aのカルテ情報を更新
(コメントを追加登録)
S36

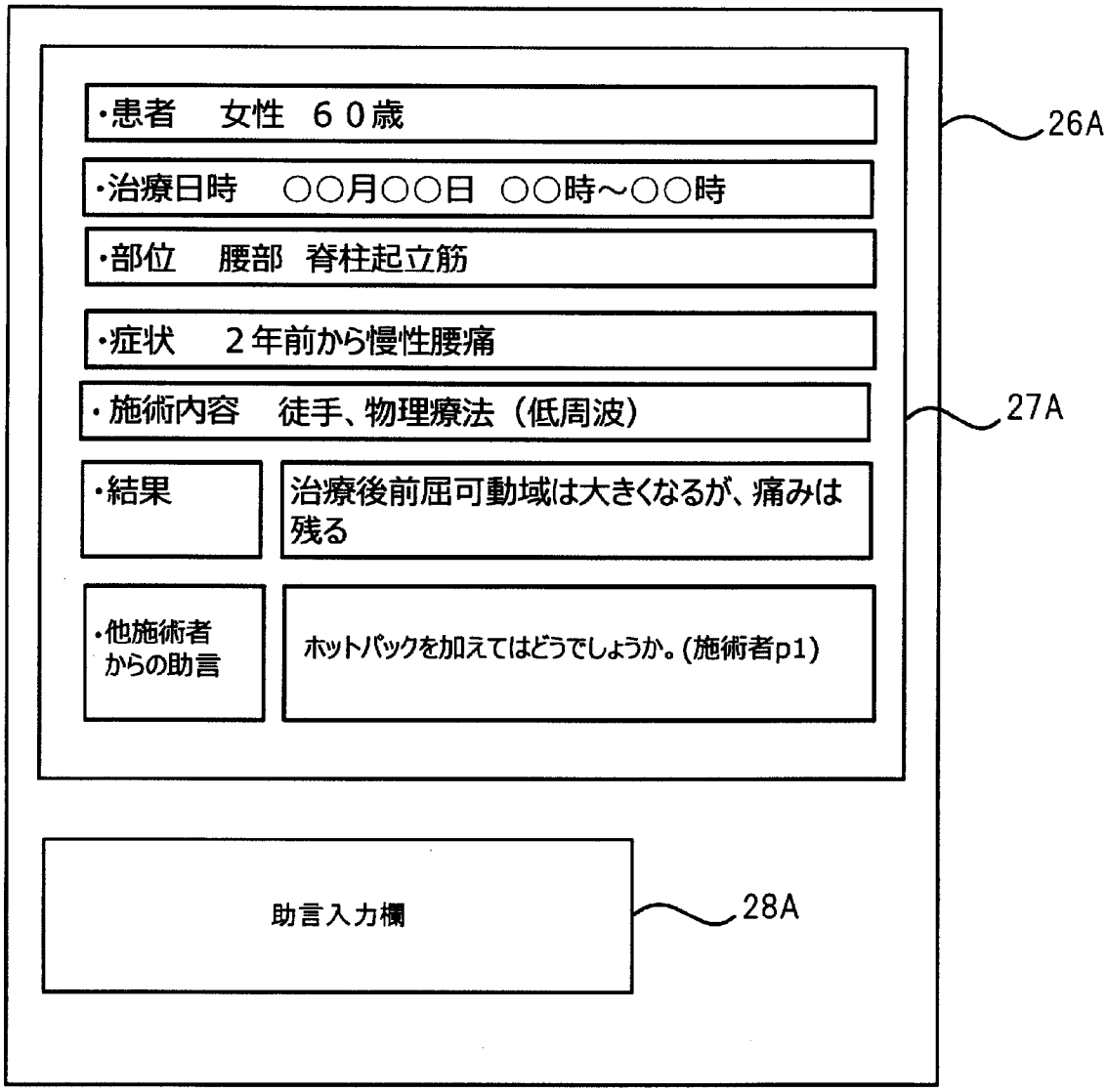
[図11]


・患者　女性　６０歳
・治療日時　○○月○○日　○○時～○○時
・部位　腰部　脊柱起立筋
・症状　２年前から慢性腰痛
・施術内容　徒手、物理療法（低周波）
・結果
治療後前屈可動域は大きくなるが、痛みは残る
・他施術者からの助言
助言入力欄
26A
27A
28A

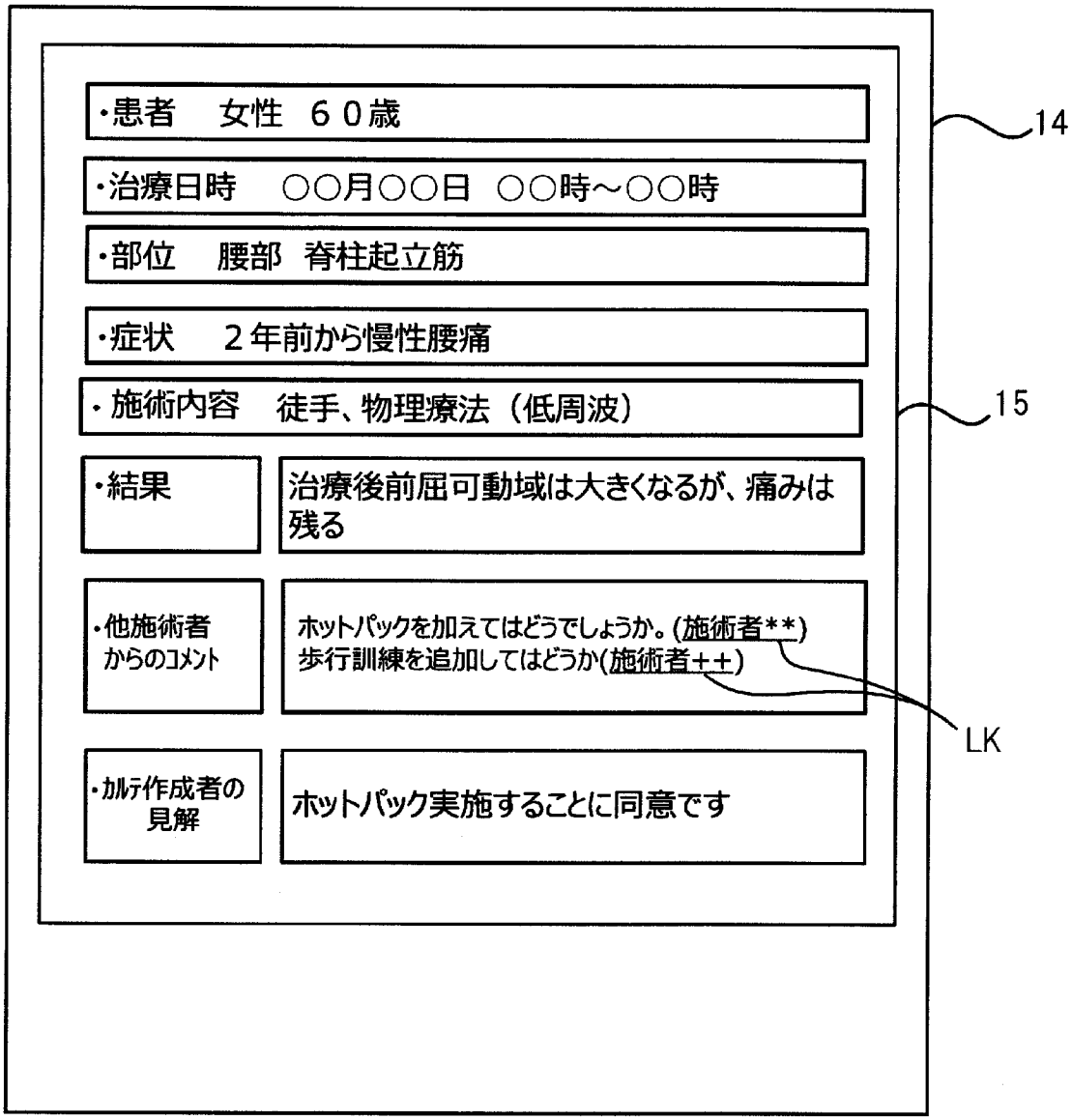
[図12]


・患者　女性　６０歳
・治療日時　○○月○○日　○○時～○○時
・部位　腰部　脊柱起立筋
・症状　２年前から慢性腰痛
・施術内容　徒手、物理療法（低周波）
・結果
治療後前屈可動域は大きくなるが、痛みは残る
・他施術者からの助言
ホットパックを加えてはどうでしょうか。(施術者p1)
歩行訓練を追加してはどうか(施術者p2)
26B
27B
見解入力欄
28B

[図13]


・患者　女性　６０歳
・治療日時　○○月○○日　○○時～○○時
・部位　腰部　脊柱起立筋
・症状　２年前から慢性腰痛
・施術内容　徒手、物理療法（低周波）
・結果
治療後前屈可動域は大きくなるが、痛みは残る
・他施術者からの助言
ホットパックを加えてはどうでしょうか。(施術者p1)
26A
27A
助言入力欄
28A

[図14]


・患者　女性　６０歳
・治療日時　○○月○○日　○○時～○○時
・部位　腰部　脊柱起立筋
・症状　２年前から慢性腰痛
・施術内容　徒手、物理療法（低周波）
・結果
治療後前屈可動域は大きくなるが、痛みは残る
・他施術者からのコメント
ホットパックを加えてはどうでしょうか。(施術者**)
歩行訓練を追加してはどうか(施術者++)
・カルテ作成者の見解
ホットパック実施することに同意です
14
15
LK

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2020/006084

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl. G06Q50/10(2012.01)i, G16H40/20(2018.01)i
FI: G06Q50/10, G16H40/20

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl. G06Q50/10, G16H40/20

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2020
Registered utility model specifications of Japan	1996-2020
Published registered utility model applications of Japan	1994-2020

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	JP 2001-282922 A (TOSHIBA CORPORATION) 12.10.2001 (2001-10-12), paragraphs [0021]-[0024], [0044]-[0051], [0053], [0054], [0061], entire text, all drawings	1-2, 4-7 3
A	JP 2006-134019 A (FUJI XEROX CO., LTD.) 25.05.2006 (2006-05-25), entire text, all drawings	1-7
A	JP 2002-245171 A (CANON SALES CO INC.) 30.08.2002 (2002-08-30), entire text, all drawings	1-7

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
08.04.2020	21.04.2020

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2020/006084

JP 2001-282922 A	12.10.2001	(Family: none)
JP 2006-134019 A	25.05.2006	(Family: none)
JP 2002-245171 A	30.08.2002	(Family: none)

国際調査報告

国際出願番号
PCT/JP2020/006084

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

G06Q 50/10(2012.01)i; G16H 40/20(2018.01)i
FI: G06Q50/10; G16H40/20

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

G06Q50/10; G16H40/20

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０２０年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０２０年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０２０年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー*	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
X	JP 2001-282922 A (株式会社東芝) 12.10.2001 (2001-10-12) 段落[0021]-[0024][0044]-[0051][0053]-[0054][0061]	1-2, 4-7
A	全文，全図	3
A	JP 2006-134019 A (富士ゼロックス株式会社) 25.05.2006 (2006-05-25) 全文，全図	1-7
A	JP 2002-245171 A (キヤノン販売株式会社) 30.08.2002 (2002-08-30) 全文，全図	1-7

☐ Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☑ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
08.04.2020	21.04.2020

名称及びあて先
日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

権限のある職員（特許庁審査官）
田中　秀樹 5R 3246
電話番号 03-3581-1101 内線 3502

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
PCT/JP2020/006084

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 2001-282922 A	12.10.2001	（ファミリーなし）	
JP 2006-134019 A	25.05.2006	（ファミリーなし）	
JP 2002-245171 A	30.08.2002	（ファミリーなし）	